

オンライン請求システムにおけるMacOSの対応状況について

平成22年5月にリリースされた「Java for Mac OS 10.5 Update 7」を適用すると、電子認証がストップし、レセプト送信ができなくなる事象については、当該事象の発生以降、Apple社に対する対処方法の照会及び改善要請を継続して行っておりますが、いまだ具体的な対応策または改善等の回答がない状況です。

なお、Javaのアップデートまたは新しいMacOSがリリースされる都度、検証を行っておりますが、解決には至らず、現在もオンライン請求システムでご利用いただくことができない状況です。

MacOSをお使いの利用者様には大変ご不便をおかけしますが、今後もApple社に対し、継続して改善要請を行ってまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

	基金の対応	OS等のリリースに対する検証
平成22年	5月 Javaの不具合発生 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 対処方法について調査・検討開始 Apple社に対処方法の照会 Apple社よりJavaの不具合である旨の回答 (改修時期については未定) </div>	
平成23年	<div style="background-color: #fce4d6; padding: 5px;"> Apple社に対する照会は、必要に応じて行っております。 ・平成22年 13回 ・平成23年 6回 ・平成24年 2回 また、検証の結果についてもApple社へ情報提供を行っております。 </div>	7月 Mac OS X 10.7 に対する検証を実施 (Javaの不具合解消せず) 11月 Java for Mac OS X 10.6 Update6 に対する検証を実施 Java for Mac OS X 10.7 Update1 に対する検証を実施 (Javaの不具合解消せず)
平成24年		1月 Java OpenJDK7u4 に対する検証を実施 (Javaの不具合解消せず) 6月 Mac OS X 10.7 のJava SE7 に対する検証を実施 Java for Mac OS X 10.6 Update 9 に対する検証を実施 Mac OS X 10.7.4 の統合アップデートに対する検証を実施 Java OpenJDK7u5 に対する検証を実施 (Javaの不具合解消せず)

平成24年7月31日現在の状況です。